

# マイライフ・エール（資産成長型）

## マイライフ・エール（年2%目標払出型）

## マイライフ・エール（年6%目標払出型）

### 運用報告書(全体版)

資産成長型 作成対象期間（2022年8月22日～2023年3月20日） 第1期（決算日2023年3月20日）

年2%目標払出型／年6%目標払出型 作成対象期間（2022年11月19日～2023年3月20日） 第2期（決算日2023年1月18日） 第3期（決算日2023年3月20日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	資産成長型	年2%目標払出型	年6%目標払出型
商品分類	追加型投信／内外／資産複合		
信託期間	2022年8月22日以降、無期限とします。		
運用方針	円建ての外国投資信託であるノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス/D6クラス受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス/D6クラス受益証券への投資を中心としますが、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。		
主な投資対象	マイライフ・エール（資産成長型） マイライフ・エール（年2%目標払出型） マイライフ・エール（年6%目標払出型）	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス/D6クラス受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス/D6クラス	日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。	
	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。	
主な投資制限	マイライフ・エール（資産成長型） マイライフ・エール（年2%目標払出型） マイライフ・エール（年6%目標払出型）	株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
	野村マネー マザーファンド	株式への投資は行いません。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。なお、各決算時点の基準価額に対して年率2%相当の分配を行なうことを目指します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。なお、各決算時点の基準価額に対して年率6%相当の分配を行なうことを目指します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## <資産成長型>

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産額
		税金	み				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円
2022年8月22日	10,000	—	—	—	—	—	847
1期(2023年3月20日)	9,716	0	△2.8	0.0	—	98.9	4,788

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
		騰	落			
(設定日)	円	%	%	%	%	%
2022年8月22日	10,000	—	—	—	—	—
8月末	9,977	△0.2	0.0	—	—	96.3
9月末	9,764	△2.4	0.0	—	—	96.7
10月末	9,869	△1.3	0.0	—	—	96.7
11月末	9,836	△1.6	0.0	—	—	98.3
12月末	9,562	△4.4	0.0	—	—	99.0
2023年1月末	9,634	△3.7	0.0	—	—	99.0
2月末	9,695	△3.1	0.0	—	—	98.9
(期末)						
2023年3月20日	9,716	△2.8	0.0	—	—	98.9

\*騰落率は設定日比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## <年2%目標払出型>

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	投資信託 証券組入比率	純資産額
		税金	込配	み金騰落				
(設定日)	円							百万円
2022年8月22日	10,000							169
1期(2022年11月18日)	9,837		40	△1.2	0.0	—	98.3	1,246
2期(2023年1月18日)	9,460		40	△3.4	0.0	—	98.9	1,518
3期(2023年3月20日)	9,605		40	2.0	0.0	—	98.8	1,753

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

### ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額	標準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託 証券組入比率
			騰落	率			
第2期	(期首)	円		%	%	%	%
	2022年11月18日	9,837		—	0.0	—	98.3
	11月末	9,803	△0.3		0.0	—	99.0
	12月末	9,533	△3.1		0.0	—	99.0
第3期	(期末)						
	2023年1月18日	9,500	△3.4		0.0	—	98.9
	(期首)						
	2023年1月18日	9,460		—	0.0	—	98.9
第3期	1月末	9,564	1.1		0.0	—	98.7
	2月末	9,625	1.7		0.0	—	98.8
	(期末)						
	2023年3月20日	9,645	2.0		0.0	—	98.8

\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## <年6%目標払出型>

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		税金	込配	み金騰落				
(設定日)	円							百万円
2022年8月22日	10,000		—	—	—	—	—	315
1期(2022年11月18日)	9,768		100	△1.3	0.0	—	98.9	1,465
2期(2023年1月18日)	9,332		100	△3.4	0.0	—	98.9	1,657
3期(2023年3月20日)	9,416		100	2.0	0.0	—	98.8	2,119

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\* 当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

### ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額	標準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
			騰落	率			
第2期	(期首)	円		%	%	%	%
	2022年11月18日	9,768	—	—	0.0	—	98.9
	11月末	9,733	△0.4		0.0	—	99.0
	12月末	9,466	△3.1		0.0	—	99.1
第3期	(期末)						
	2023年1月18日	9,432	△3.4		0.0	—	98.9
	(期首)						
	2023年1月18日	9,332	—		0.0	—	98.9
第3期	1月末	9,436	1.1		0.0	—	98.9
	2月末	9,496	1.8		0.0	—	98.9
	(期末)						
	2023年3月20日	9,516	2.0		0.0	—	98.8

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

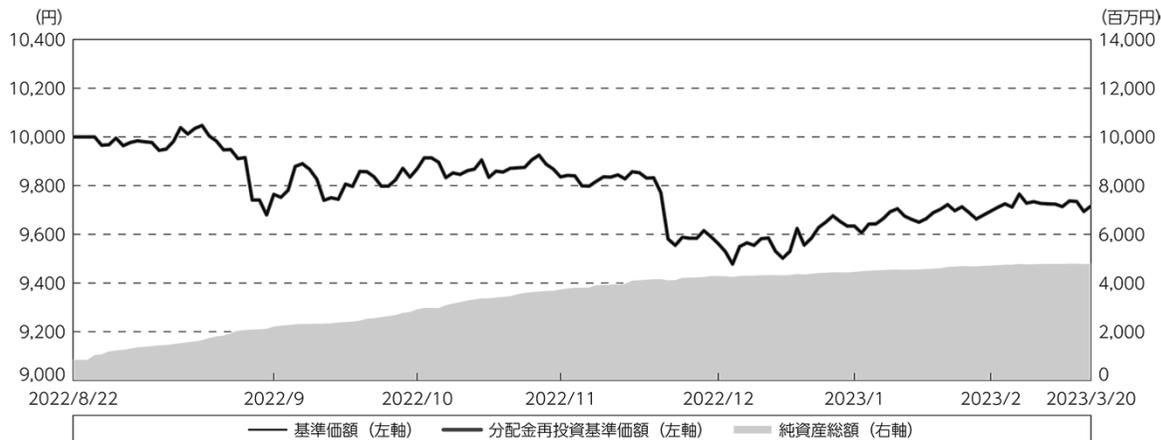
\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## <資産成長型>

### ◎運用経過

#### ○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,716円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 2.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円から当作成期末には9,716円となりました。

- ・実質的に投資している外国債券が値下がりしたこと
- ・実質的に投資している国内債券が値下がりしたこと

## <資産成長型>

### ○投資環境

#### 国内株式

設定時から2022年11月にかけては、円安を背景に輸出関連企業の業績上方修正への期待が高まったことや、日本企業の業績が相対的に堅調と受け止められたことなどから、上昇となりました。その後、円高を背景に外需関連株に売りが入ったことが下押し要因となる一方、中国の経済回復期待に伴い半導体関連などの景気敏感株を中心に買いが入ったことや、日銀の次期総裁候補者が国会での所信聴取で金融緩和の継続方針を表明したことなどが相場の下支え要因となり、一進一退で推移し、当作成期間ではほぼ横ばいとなりました。

#### 国内債券

設定日から2023年1月にかけては、日銀が金融政策決定会合で長期金利の許容変動幅の拡大を決定したことなどから、国内債券利回りは上昇（価格は下落）基調となりました。その後、シリコンバレー銀行の破綻などを受けて、海外債券利回りの低下（価格は上昇）に連れて、国内債券利回りは低下しましたが、当作成期間では国内債券利回りは上昇となりました。

#### 外国株式

設定日から2023年2月にかけては、米国で市場予想を上回る決算内容の企業を中心に買いが入ったことや、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどが相場の下支え要因となる一方、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締め長期化が警戒されたことなどが下押し要因となり、一進一退で推移しました。その後、シリコンバレー銀行の破綻や、主要国通貨が対円で下落（円高）したことから、円換算ベースでの外国株式は当作成期間では値下がりとなりました。

#### 外国債券

設定日から2022年10月にかけては、米国の8月のCPI（消費者物価指数）が市場予想を上回る水準であったことや、欧州ではECB（欧州中央銀行）が定例理事会で0.75%の利上げを決定したことなどを背景に、外国債券利回りは上昇（価格は下落）しました。その後、米国の複数の物価関連指標がインフレ鈍化の兆しを示したことや、米国の2022年12月の雇用統計において賃金上昇率が前月から減速したことなどからFRBの金融引き締め長期化への懸念が後退し、外国債券利回りは低下（価格は上昇）しましたが、当作成期間では外国債券利回りは上昇しました。当作成期間において、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどを背景に、主要国通貨が対円で下落（円高）したことから、円換算ベースでの外国債券は値下がりとなりました。

## <資産成長型>

### 世界REIT

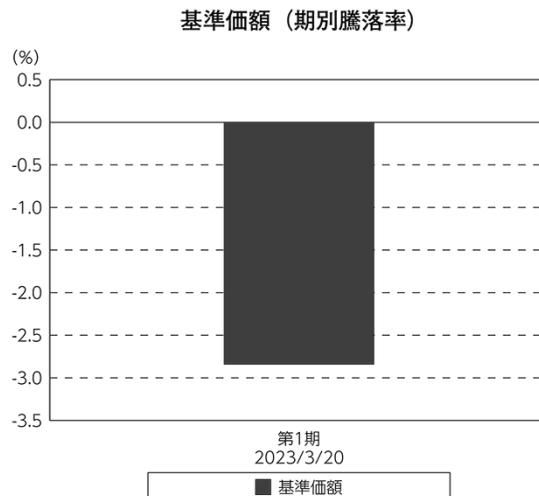
米国内古住宅販売件数が継続して減少したことや、FRBによる金融引き締めが長期化が警戒されたことなどを背景に、当作成期間では値下がりとなりました。当作成期間において、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどを背景に、主要国通貨が対円で下落（円高）したことから、円換算ベースでの世界REITは値下がりとなりました。

※ファンドの主要投資対象である外国投資信託が投資するETFの値動きをもとに説明しています。

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## <資産成長型>

### ◎分配金

収益分配金については、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり第1期0円といたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第1期
	2022年8月22日～ 2023年3月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	206

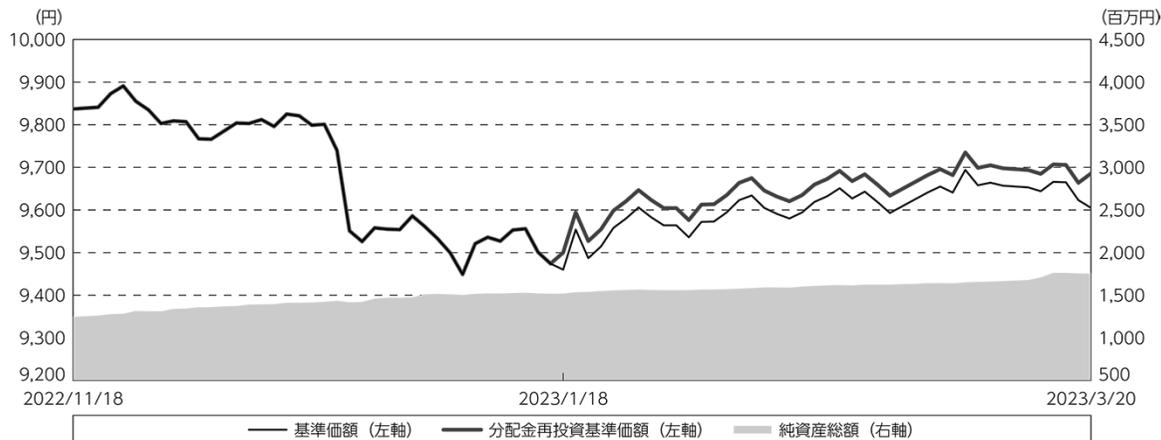
（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <年2%目標払出型>

### ◎運用経過

#### ○作成期間中の基準価額等の推移



第2期首：9,837円

第3期末：9,605円（既払分配金（税込み）：80円）

騰落率：△ 1.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2022年11月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の9,837円から当作成期末には9,605円（分配後）となりました。

- ・実質的に投資している外国債券が値下がりしたこと
- ・実質的に投資している外国株式が値下がりしたこと

## <年2%目標払出型>

### ○投資環境

#### 国内株式

日本企業の業績が相対的に堅調と受け止められたこと、中国の経済回復期待に伴い半導体関連などの景気敏感株を中心に買いが入ったこと、日銀の次期総裁候補者が国会での所信聴取で金融緩和の継続方針を表明したことなどが相場の下支え要因となる一方、円高を背景に外需関連株に売りが入ったことや、シリコンバレー銀行の破綻が嫌気されたことなどが下押し要因となり、一進一退で推移し、当作成期間ではほぼ横ばいとなりました。

#### 国内債券

当作成期首から2023年1月にかけては、日銀が金融政策決定会合で長期金利の許容変動幅の拡大を決定したことなどから、国内債券利回りは上昇（価格は下落）基調となりました。その後、シリコンバレー銀行の破綻などを受けて、海外債券利回りの低下（価格は上昇）に連れて、国内債券利回りは低下しましたが、当作成期間では国内債券利回りはほぼ横ばいとなりました。

#### 外国株式

米国で市場予想を上回る決算内容の企業を中心に買いが入ったことや、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどが相場の下支え要因となる一方、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締め長期化が警戒されたことや、シリコンバレー銀行の破綻が嫌気されたことなどが下押し要因となり、一進一退で推移し、当作成期間ではほぼ横ばいとなりました。当作成期間において、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどを背景に、主要国通貨が対円で下落（円高）したことから、円換算ベースでの外国株式は値下がりとなりました。

#### 外国債券

米国の複数の物価関連指標がインフレ鈍化の兆しを示したことや、米国の2022年12月の雇用統計において賃金上昇率が前月から減速したことなどからFRBの金融引き締め長期化への懸念が後退し、外国債券利回りは低下（価格は上昇）となり、当作成期間では外国債券利回りは低下しました。当作成期間において、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどを背景に、主要国通貨が対円で下落（円高）したことから、円換算ベースでの外国債券は値下がりとなりました。

## <年2%目標払出型>

### 世界REIT

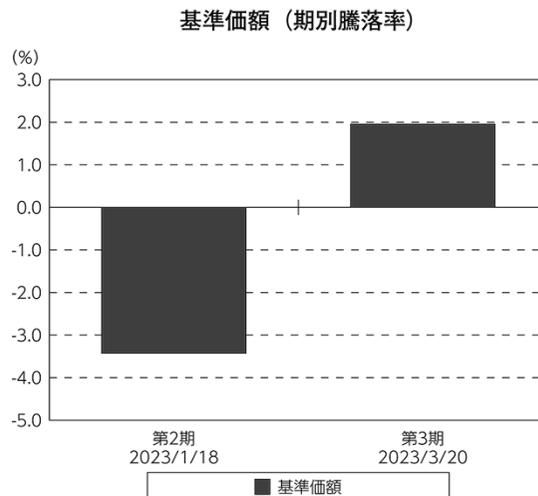
米国内古住宅販売件数が継続して減少したことや、FRBによる金融引き締めの一環としての長期化が警戒されたことなどを背景に、当作成期間では値下がりとなりました。当作成期間において、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどを背景に、主要国通貨が対円で下落（円高）したことから、円換算ベースでの世界REITは値下がりとなりました。

※ファンドの主要投資対象である外国投資信託が投資するETFの値動きをもとに説明しています。

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

<年2%目標払出型>

◎分配金

収益分配金については、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり第2期、第3期各40円といたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第2期	第3期
	2022年11月19日～ 2023年1月18日	2023年1月19日～ 2023年3月20日
当期分配金	40	40
（対基準価額比率）	0.421%	0.415%
当期の収益	40	40
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	77	94

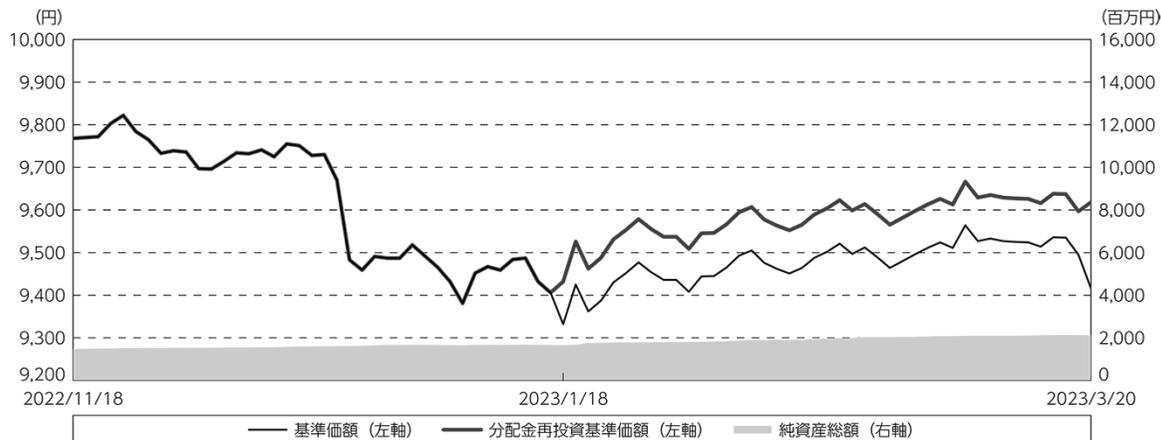
（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <年6%目標払出型>

### ◎運用経過

#### ○作成期間中の基準価額等の推移



第2期首：9,768円

第3期末：9,416円（既払分配金（税込み）：200円）

騰落率：△ 1.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2022年11月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の9,768円から当作成期末には9,416円（分配後）となりました。

- ・実質的に投資している外国債券が値下がりしたこと
- ・実質的に投資している外国株式が値下がりしたこと

## <年6%目標払出型>

### ○投資環境

#### 国内株式

日本企業の業績が相対的に堅調と受け止められたこと、中国の経済回復期待に伴い半導体関連などの景気敏感株を中心に買いが入ったこと、日銀の次期総裁候補者が国会での所信聴取で金融緩和の継続方針を表明したことなどが相場の下支え要因となる一方、円高を背景に外需関連株に売りが入ったことや、シリコンバレー銀行の破綻が嫌気されたことなどが下押し要因となり、一進一退で推移し、当作成期間ではほぼ横ばいとなりました。

#### 国内債券

当作成期首から2023年1月にかけては、日銀が金融政策決定会合で長期金利の許容変動幅の拡大を決定したことなどから、国内債券利回りは上昇（価格は下落）基調となりました。その後、シリコンバレー銀行の破綻などを受けて、海外債券利回りの低下（価格は上昇）に連れて、国内債券利回りは低下しましたが、当作成期間では国内債券利回りはほぼ横ばいとなりました。

#### 外国株式

米国で市場予想を上回る決算内容の企業を中心に買いが入ったことや、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどが相場の下支え要因となる一方、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締め長期化が警戒されたことや、シリコンバレー銀行の破綻が嫌気されたことなどが下押し要因となり、一進一退で推移し、当作成期間ではほぼ横ばいとなりました。当作成期間において、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどを背景に、主要国通貨が対円で下落（円高）したことから、円換算ベースでの外国株式は値下がりとなりました。

#### 外国債券

米国の複数の物価関連指標がインフレ鈍化の兆しを示したことや、米国の2022年12月の雇用統計において賃金上昇率が前月から減速したことなどからFRBの金融引き締め長期化への懸念が後退し、外国債券利回りは低下（価格は上昇）となり、当作成期間では外国債券利回りは低下しました。当作成期間において、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどを背景に、主要国通貨が対円で下落（円高）したことから、円換算ベースでの外国債券は値下がりとなりました。

## <年6%目標払出型>

### 世界REIT

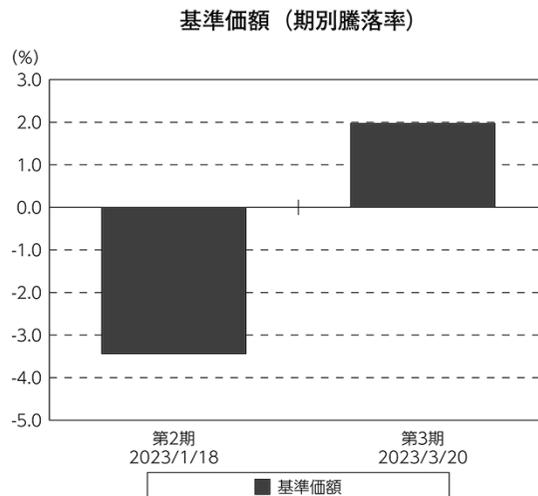
米国内古住宅販売件数が継続して減少したことや、FRBによる金融引き締めの一環としての長期化が警戒されたことなどを背景に、当作成期間では値下がりとなりました。当作成期間において、米欧中央銀行が利上げペースを減速させるとの見方が広まったことなどを背景に、主要国通貨が対円で下落（円高）したことから、円換算ベースでの世界REITは値下がりとなりました。

※ファンドの主要投資対象である外国投資信託が投資するETFの値動きをもとに説明しています。

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

<年6%目標払出型>

◎分配金

収益分配金については、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり第2期、第3期各100円といたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第2期	第3期
	2022年11月19日～ 2023年1月18日	2023年1月19日～ 2023年3月20日
当期分配金	100	100
（対基準価額比率）	1.060%	1.051%
当期の収益	100	100
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	132	146

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜資産成長型／年2%目標払出型／年6%目標払出型＞

**○当ファンドのポートフォリオ**

**[マイライフ・エール（資産成長型）]**

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないました。投資の中心とする [ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス] 受益証券への投資比率を概ね高位に維持しました。

**[マイライフ・エール（年2%目標払出型）]**

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないました。投資の中心とする [ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス] 受益証券への投資比率を概ね高位に維持しました。

**[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス]**

日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ない、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないました。

**[マイライフ・エール（年6%目標払出型）]**

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D6クラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないました。投資の中心とする [ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D6クラス] 受益証券への投資比率を概ね高位に維持しました。

**[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D6クラス]**

日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ない、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないました。

**[野村マネー マザーファンド]**

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

<資産成長型／年2%目標払出型／年6%目標払出型>

## ◎今後の運用方針

### [マイライフ・エール（資産成長型）]

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

投資の中心とする [ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス] 受益証券への投資比率を概ね高位に維持します。

### [マイライフ・エール（年2%目標払出型）]

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

投資の中心とする [ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス] 受益証券への投資比率を概ね高位に維持します。

### [ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D2クラス]

ファンドが投資対象とする日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ないます。

ETFへの投資配分比率は、副投資顧問会社である野村證券株式会社が独自に開発したモデルを用い、各資産の期待リターンや推定リスク、各資産間の相関係数等をもとに最適化した結果を踏まえ決定します。

### [マイライフ・エール（年6%目標払出型）]

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D6クラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

投資の中心とする [ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド2-D6クラス] 受益証券への投資比率を概ね高位に維持します。

＜資産成長型／年2%目標払出型／年6%目標払出型＞

**[ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・バランス・ファンド2-D6クラス]**

ファンドが投資対象とする日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ないます。

ETFへの投資配分比率は、副投資顧問会社である野村證券株式会社が独自に開発したモデルを用い、各資産の期待リターンや推定リスク、各資産間の相関係数等をもとに最適化した結果を踏まえ決定します。

**[野村マネー マザーファンド]**

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<資産成長型>

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年 8 月22日～2023年 3 月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 28	% 0.283	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 8 )	(0.079)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(19)	(0.191)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.013)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	28	0.285	
期中の平均基準価額は、9,762円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

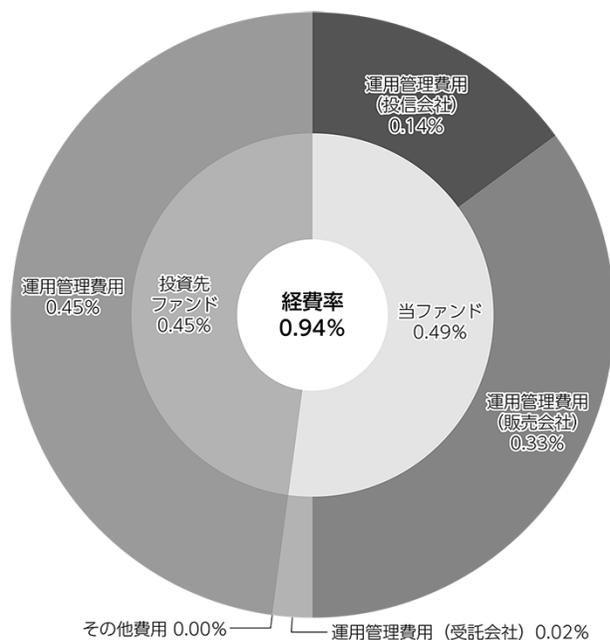
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <資産成長型>

（参考情報）

### ○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.94%です。



（単位：％）

経費率(①+②)	0.94
①当ファンドの費用の比率	0.49
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## <資産成長型>

### ○売買及び取引の状況

（2022年8月22日～2023年3月20日）

#### 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ノムラ・マネージド・マスター・トラストー グローバル・バランス・ファンド2-D2クラス	口 499,926	千円 4,889,195	口 319	千円 3,004

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

#### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
野村マネー マザーファンド		千口 98	千円 100	千口 -	千円 -

\*単位未満は切り捨て。

### ○利害関係人との取引状況等

（2022年8月22日～2023年3月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ○組入資産の明細

（2023年3月20日現在）

#### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		当期末		
		口数	評価額	比率
ノムラ・マネージド・マスター・トラストー グローバル・バランス・ファンド2-D2クラス		口 499,607	千円 4,738,272	% 98.9
合 計		499,607	4,738,272	98.9

\*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

<資産成長型>

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド		千口 98	千円 99

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 4,738,272	% 98.7
野村マネー マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	60,016	1.3
投資信託財産総額	4,798,387	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

＜資産成長型＞

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年3月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,798,387,664
コール・ローン等	60,014,896
投資信託受益証券(評価額)	4,738,272,788
野村マネー マザーファンド(評価額)	99,980
(B) 負債	9,735,069
未払信託報酬	9,669,910
未払利息	38
その他未払費用	65,121
(C) 純資産総額(A-B)	4,788,652,595
元本	4,928,819,788
次期繰越損益金	△ 140,167,193
(D) 受益権総口数	4,928,819,788口
1万円当たり基準価額(C/D)	9,716円

(注) 期首元本額は847,001,673円、期中追加設定元本額は4,128,273,612円、期中一部解約元本額は46,455,497円、1口当たり純資産額は0.9716円です。

○損益の状況（2022年8月22日～2023年3月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	78,420,409
受取配当金	78,439,217
支払利息	△ 18,808
(B) 有価証券売買損益	△146,846,152
売買益	1,069,496
売買損	△147,915,648
(C) 信託報酬等	△ 9,735,031
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 78,160,774
(E) 追加信託差損益金	△ 62,006,419
(配当等相当額)	( 32,879,814)
(売買損益相当額)	(△ 94,886,233)
(F) 計(D+E)	△140,167,193
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△140,167,193
追加信託差損益金	△ 62,006,419
(配当等相当額)	( 32,879,856)
(売買損益相当額)	(△ 94,886,275)
分配準備積立金	68,685,552
繰越損益金	△146,846,326

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2022年8月22日～2023年3月20日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年8月22日～ 2023年3月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	68,685,552円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	32,879,856円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	101,565,408円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	206円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万円当たり)	0円

## <資産成長型>

### ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

### ○お知らせ

---

該当事項はございません。

<年2%目標払出型>

○第2期中の1万口当たりの費用明細

（2022年11月19日～2023年1月18日）

項 目	第2期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 8	% 0.082	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.023)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.055)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.004)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	8	0.083	
作成期間の平均基準価額は、9,668円です。			

\* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

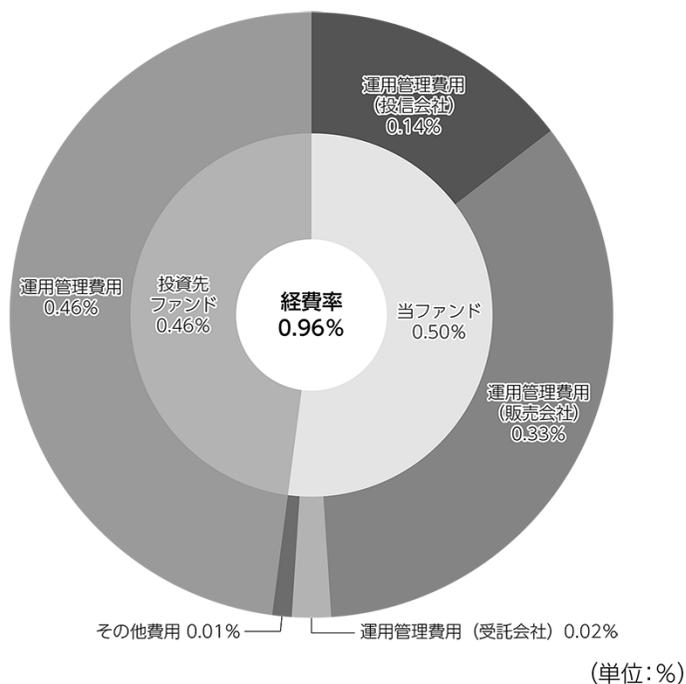
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <年2%目標払出型>

（参考情報）

### ○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.96%です。



経費率(①+②)	0.96
①当ファンドの費用の比率	0.50
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.46

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<年2%目標払出型>

○第3期中の1万口当たりの費用明細

（2023年1月19日～2023年3月20日）

項 目	第3期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 8	% 0.082	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.023)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.055)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.004)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	8	0.083	
作成期間の平均基準価額は、9,594円です。			

\* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

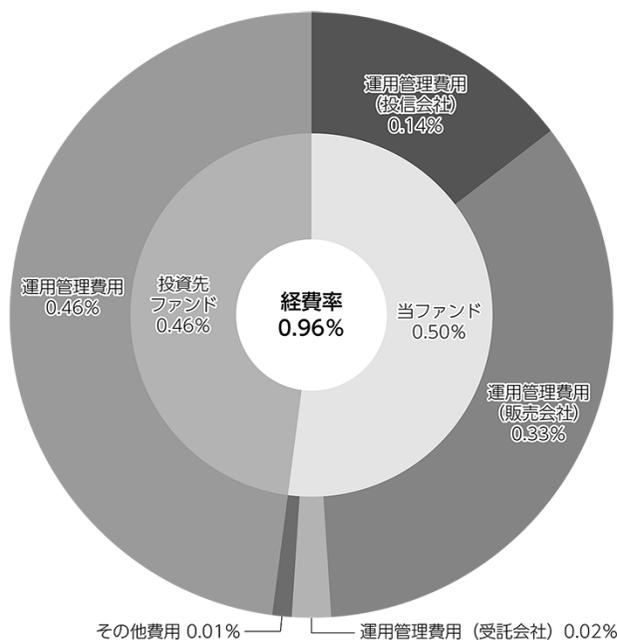
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <年2%目標払出型>

（参考情報）

### ○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.96%です。



(単位: %)

経費率(①+②)	0.96
①当ファンドの費用の比率	0.50
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.46

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<年2%目標払出型>

○第2期中の売買及び取引の状況

(2022年11月19日～2023年1月18日)

投資信託証券

銘柄		第2期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ノムラ・マネージド・マスター・トラストー グローバル・バランス・ファンド2-D2クラス	口 35,384	千円 338,853	口 430	千円 4,009

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

○第3期中の売買及び取引の状況

(2023年1月19日～2023年3月20日)

投資信託証券

銘柄		第3期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ノムラ・マネージド・マスター・トラストー グローバル・バランス・ファンド2-D2クラス	口 22,163	千円 209,971	口 201	千円 1,902

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

○第2期中の利害関係人との取引状況等

(2022年11月19日～2023年1月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第3期中の利害関係人との取引状況等

(2023年1月19日～2023年3月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

<年2%目標払出型>

○組入資産の明細

(2023年3月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第1期末	第3期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	口	口	千円	%
ノムラ・マネージド・マスター・トラストー グローバル・バランス・ファンド2-D2クラス	125,735	182,651	1,732,262	98.8
合 計	125,735	182,651	1,732,262	98.8

\*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	第1期末	第3期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村マネー マザーファンド	98	98	99

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月20日現在)

項 目	第3期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,732,262	98.3
野村マネー マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	30,740	1.7
投資信託財産総額	1,763,101	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

<年2%目標払出型>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第2期末	第3期末
	2023年1月18日現在	2023年3月20日現在
	円	円
(A) 資産	1,529,578,680	1,763,101,375
コール・ローン等	26,715,162	30,739,311
投資信託受益証券(評価額)	1,502,763,528	1,732,262,084
野村マネー マザーファンド(評価額)	99,990	99,980
(B) 負債	10,579,995	9,628,671
未払金	2,992,640	995,820
未払収益分配金	6,422,509	7,302,309
未払信託報酬	1,157,057	1,321,633
未払利息	10	19
その他未払費用	7,779	8,890
(C) 純資産総額(A-B)	1,518,998,685	1,753,472,704
元本	1,605,627,287	1,825,577,344
次期繰越損益金	△ 86,628,602	△ 72,104,640
(D) 受益権総口数	1,605,627,287口	1,825,577,344口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,460円	9,605円

(注) 第2期首元本額は1,266,758,126円、第2～3期中追加設定元本額は566,733,895円、第2～3期中一部解約元本額は7,914,677円、1口当たり純資産額は、第2期0.9460円、第3期0.9605円です。

<年2%目標払出型>

○損益の状況

項 目	第2期	第3期
	2022年11月19日～ 2023年1月18日	2023年1月19日～ 2023年3月20日
	円	円
(A) 配当等収益	8,272,853	9,901,566
受取配当金	8,275,144	9,902,421
支払利息	△ 2,291	△ 855
(B) 有価証券売買損益	△57,241,937	21,324,568
売買益	98	21,428,671
売買損	△57,242,035	△ 104,103
(C) 信託報酬等	△ 1,164,836	△ 1,330,523
(D) 当期損益金(A+B+C)	△50,133,920	29,895,611
(E) 前期繰越損益金	△ 7,670,361	△63,933,106
(F) 追加信託差損益金	△22,401,812	△30,764,836
(配当等相当額)	( 8,520,581)	( 11,180,305)
(売買損益相当額)	(△30,922,393)	(△41,945,141)
(G) 計(D+E+F)	△80,206,093	△64,802,331
(H) 収益分配金	△ 6,422,509	△ 7,302,309
次期繰越損益金(G+H)	△86,628,602	△72,104,640
追加信託差損益金	△22,401,812	△30,764,836
(配当等相当額)	( 8,520,586)	( 11,180,305)
(売買損益相当額)	(△30,922,398)	(△41,945,141)
分配準備積立金	3,957,239	6,116,512
繰越損益金	△68,184,029	△47,456,316

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年11月19日～2023年3月20日)は以下の通りです。

項 目	第2期	第3期
	2022年11月19日～ 2023年1月18日	2023年1月19日～ 2023年3月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	7,108,052円	9,479,678円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	8,520,586円	11,180,305円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	3,271,696円	3,939,143円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	18,900,334円	24,599,126円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	117円	134円
g. 分配金	6,422,509円	7,302,309円
h. 分配金(1万口当たり)	40円	40円

## <年2%目標払出型>

### ○分配金のお知らせ

	第2期	第3期
1万口当たり分配金（税込み）	40円	40円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

### ○お知らせ

該当事項はございません。

<年6%目標払出型>

○第2期中の1万口当たりの費用明細

（2022年11月19日～2023年1月18日）

項 目	第2期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 8	% 0.082	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.023)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.055)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.004)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	8	0.083	
作成期間の平均基準価額は、9,599円です。			

\* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

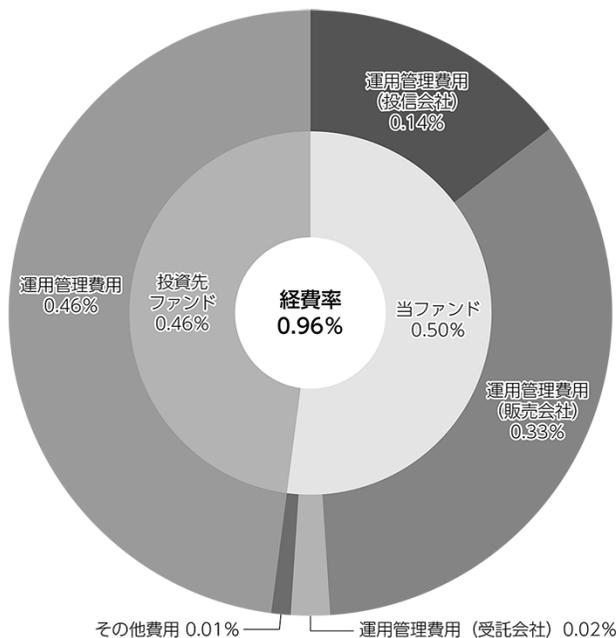
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <年6%目標払出型>

（参考情報）

### ○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.96%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	0.96
①当ファンドの費用の比率	0.50
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.46

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<年6%目標払出型>

○第3期中の1万口当たりの費用明細

（2023年1月19日～2023年3月20日）

項 目	第3期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 8	% 0.082	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.023)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.055)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.004)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	8	0.083	
作成期間の平均基準価額は、9,466円です。			

\* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

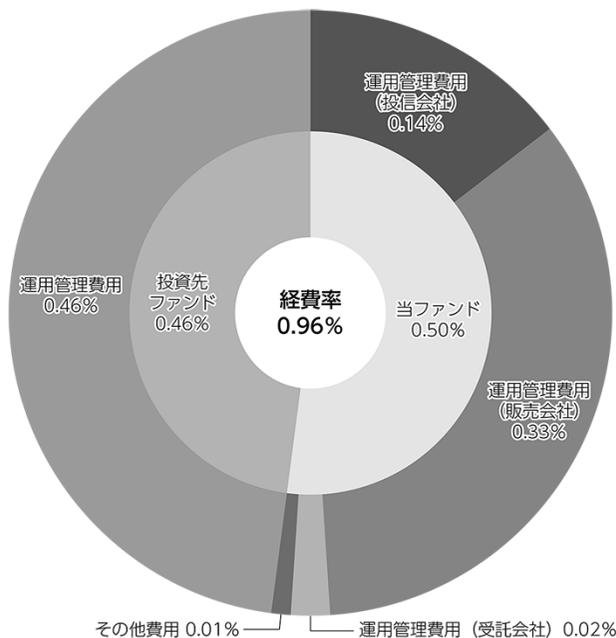
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <年6%目標払出型>

（参考情報）

### ○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.96%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	0.96
①当ファンドの費用の比率	0.50
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.46

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<年6%目標払出型>

○第2期中の売買及び取引の状況

(2022年11月19日～2023年1月18日)

投資信託証券

銘柄		第2期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ノムラ・マネージド・マスター・トラストー グローバル・バランス・ファンド2-D6クラス	口 29,795	千円 280,853	口 1,749	千円 16,003

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

○第3期中の売買及び取引の状況

(2023年1月19日～2023年3月20日)

投資信託証券

銘柄		第3期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ノムラ・マネージド・マスター・トラストー グローバル・バランス・ファンド2-D6クラス	口 50,155	千円 463,762	口 2,382	千円 22,004

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

○第2期中の利害関係人との取引状況等

(2022年11月19日～2023年1月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第3期中の利害関係人との取引状況等

(2023年1月19日～2023年3月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

<年6%目標払出型>

○組入資産の明細

(2023年3月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第1期末	第3期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ノムラ・マネージド・マスター・トラスト グローバル・バランス・ファンド2-D6クラス	口 150,621	口 226,440	千円 2,093,664	% 98.8
合 計	150,621	226,440	2,093,664	98.8

\*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	第1期末	第3期末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド	千口 98	千口 98	千円 99

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月20日現在)

項 目	第3期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,093,664	% 97.3
野村マネー マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	58,828	2.7
投資信託財産総額	2,152,591	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

<年6%目標払出型>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第2期末		第3期末	
	2023年1月18日現在		2023年3月20日現在	
		円		円
(A) 資産		1,678,376,641		2,152,591,833
コール・ローン等		38,470,925		58,827,613
投資信託受益証券(評価額)		1,639,805,726		2,093,664,240
野村マネー マザーファンド(評価額)		99,990		99,980
(B) 負債		21,064,467		33,113,066
未払金		1,991,626		8,996,358
未払収益分配金		17,759,200		22,510,505
未払信託報酬		1,304,852		1,595,432
未払利息		14		37
その他未払費用		8,775		10,734
(C) 純資産総額(A-B)		1,657,312,174		2,119,478,767
元本		1,775,920,063		2,251,050,594
次期繰越損益金		△ 118,607,889		△ 131,571,827
(D) 受益権総口数		1,775,920.063口		2,251,050.594口
1万口当たり基準価額(C/D)		9,332円		9,416円

(注) 第2期首元本額は1,500,165,857円、第2～3期中追加設定元本額は753,906,587円、第2～3期中一部解約元本額は3,021,850円、1口当たり純資産額は、第2期0.9332円、第3期0.9416円です。

<年6%目標払出型>

○損益の状況

項 目	第2期	第3期
	2022年11月19日～ 2023年1月18日	2023年1月19日～ 2023年3月20日
	円	円
(A) 配当等収益	19,339,675	24,086,375
受取配当金	19,341,818	24,087,577
支払利息	△ 2,143	△ 1,202
(B) 有価証券売買損益	△ 74,763,818	12,080,351
売買益	7,588	12,100,928
売買損	△ 74,771,406	△ 20,577
(C) 信託報酬等	△ 1,313,627	△ 1,606,166
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 56,737,770	34,560,560
(E) 前期繰越損益金	△ 23,491,763	△ 97,856,070
(F) 追加信託差損益金	△ 20,619,156	△ 45,765,812
(配当等相当額)	( 14,432,686)	( 23,426,607)
(売買損益相当額)	(△ 35,051,842)	(△ 69,192,419)
(G) 計(D+E+F)	△100,848,689	△109,061,322
(H) 収益分配金	△ 17,759,200	△ 22,510,505
次期繰越損益金(G+H)	△118,607,889	△131,571,827
追加信託差損益金	△ 20,619,156	△ 45,765,812
(配当等相当額)	( 14,432,690)	( 23,426,608)
(売買損益相当額)	(△ 35,051,846)	(△ 69,192,420)
分配準備積立金	9,140,688	9,634,497
繰越損益金	△107,129,421	△ 95,440,512

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年11月19日～2023年3月20日)は以下の通りです。

項 目	第2期	第3期
	2022年11月19日～ 2023年1月18日	2023年1月19日～ 2023年3月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	18,026,083円	23,016,689円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	14,432,690円	23,426,608円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	8,873,805円	9,128,313円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	41,332,578円	55,571,610円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	232円	246円
g. 分配金	17,759,200円	22,510,505円
h. 分配金(1万口当たり)	100円	100円

## <年6%目標払出型>

### ○分配金のお知らせ

	第2期	第3期
1万円当たり分配金（税込み）	100円	100円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

### ○お知らせ

該当事項はございません。

# 野村マネー マザーファンド

## 運用報告書

第20期（決算日2022年8月19日）

作成対象期間（2021年8月20日～2022年8月19日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行ないません。

**野村アセットマネジメント**

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰	中率			
	円		%	%	%	百万円
16期(2018年8月20日)	10,206		△0.0	38.7	—	13,511
17期(2019年8月19日)	10,205		△0.0	59.3	—	8,458
18期(2020年8月19日)	10,203		△0.0	68.2	—	3,175
19期(2021年8月19日)	10,200		△0.0	60.1	—	9,159
20期(2022年8月19日)	10,199		△0.0	57.5	—	7,850

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2021年8月19日	円 10,200		% —	% 60.1	% —
8月末	10,200		0.0	56.8	—
9月末	10,200		0.0	55.1	—
10月末	10,200		0.0	51.6	—
11月末	10,200		0.0	54.5	—
12月末	10,199		△0.0	52.1	—
2022年1月末	10,199		△0.0	57.1	—
2月末	10,199		△0.0	57.5	—
3月末	10,199		△0.0	59.5	—
4月末	10,199		△0.0	60.1	—
5月末	10,199		△0.0	62.0	—
6月末	10,199		△0.0	55.6	—
7月末	10,199		△0.0	53.7	—
(期末) 2022年8月19日	10,199		△0.0	57.5	—

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

### ○投資環境

国内経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、消費や雇用環境などには持ち直しの動きが見られました。このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2021年12月には、2022年3月末が期限となっていた「新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラム」について中小企業向けに部分的な延長を決定しました。

TDB (国庫短期証券) 3ヵ月物の利回りは、期を通して概ね-0.1%台で推移しました。また、無担保コール翌日物金利は0~-0.05%程度で推移しました。

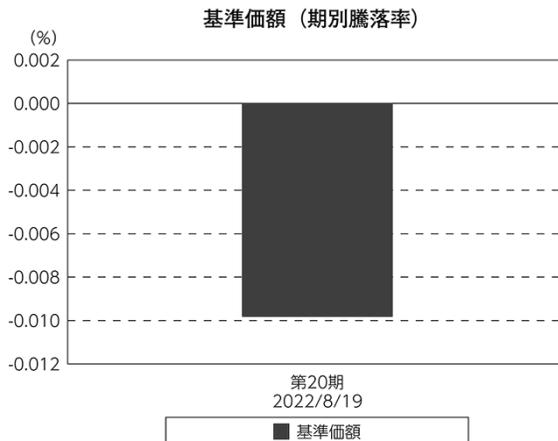
## ○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2021年8月20日～2022年8月19日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2021年8月20日～2022年8月19日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 4,055,682	千円 — (4,600,000)
	特殊債券	7,031,417	— (6,457,000)
	社債券（投資法人債券を含む）	2,136,048	— (3,130,000)

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は償還等による増減分です。

\*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年8月20日～2022年8月19日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
公社債	百万円 13,223	百万円 30	% 0.2	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

(2022年8月19日現在)

## ○組入資産の明細

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	750,000 ( 750,000)	750,520 ( 750,520)	9.6 ( 9.6)	— (—)	— (—)	— (—)	9.6 ( 9.6)
特殊債券 (除く金融債)	2,430,000 (2,430,000)	2,431,889 (2,431,889)	31.0 (31.0)	— (—)	— (—)	— (—)	31.0 (31.0)
金融債券	530,000 ( 530,000)	530,049 ( 530,049)	6.8 ( 6.8)	— (—)	— (—)	— (—)	6.8 ( 6.8)
普通社債券 (含む投資法人債券)	800,000 ( 800,000)	800,923 ( 800,923)	10.2 (10.2)	— (—)	— (—)	— (—)	10.2 (10.2)
合 計	4,510,000 (4,510,000)	4,513,382 (4,513,382)	57.5 (57.5)	— (—)	— (—)	— (—)	57.5 (57.5)

\* ( ) 内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
<b>地方債証券</b>	%	千円	千円
東京都 公募第711回	0.82	300,000	300,218
福岡県 公募平成24年度第4回	0.84	50,000	50,007
千葉県 公募平成24年度第5回	0.82	100,000	100,074
共同発行市場地方債 公募第114回	0.82	300,000	300,220
小 計		750,000	750,520
<b>特殊債券(除く金融債)</b>			
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第96回	0.796	300,000	300,221
日本高速道路保有・債務返済機構承継 財投機関債第13回	2.28	150,000	150,305
地方公共団体金融機構債券 第40回	0.825	110,000	110,101
地方公共団体金融機構債券 第41回	0.801	100,000	100,146
地方公共団体金融機構債券 第42回	0.801	40,000	40,086
日本政策金融公庫社債 第30回財投機関債	0.825	300,000	300,456
都市再生債券 財投機関債第68回	0.854	200,000	200,159
都市再生債券 財投機関債第71回	0.767	200,000	200,131
日本学生支援債券 財投機関債第60回	0.001	300,000	300,000
日本学生支援債券 財投機関債第61回	0.001	100,000	100,000
国際協力機構債券 第14回財投機関債	0.825	300,000	300,221
東日本高速道路 第48回	0.09	100,000	100,032
西日本高速道路 第37回	0.09	130,000	130,016
西日本高速道路 第38回	0.09	100,000	100,010
小 計		2,430,000	2,431,889
<b>金融債券</b>			
商工債券 利付第811回い号	0.17	30,000	30,018
しんきん中金債券 利付第333回	0.09	200,000	200,011
商工債券 利付(3年)第236回	0.02	300,000	300,019
小 計		530,000	530,049
<b>普通社債券(含む投資法人債券)</b>			
伊藤忠商事 第67回社債間限定同順位特約付	0.964	100,000	100,052
東京三菱銀行 第57回特定社債間限定同順位特約付	2.22	100,000	100,408
三井不動産 第46回社債間限定同順位特約付	0.964	200,000	200,063
三菱地所 第111回担保提供制限等財務上特約無	0.929	300,000	300,205
電源開発 第35回社債間限定同順位特約付	1.126	100,000	100,193
小 計		800,000	800,923
合 計		4,510,000	4,513,382

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2022年8月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,513,382	57.5
コール・ローン等、その他	3,340,370	42.5
投資信託財産総額	7,853,752	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年8月19日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	7,853,752,692
コール・ローン等	3,326,621,034
公社債(評価額)	4,513,382,357
未収利息	7,215,305
前払費用	6,533,996
(B) 負債	3,470,854
未払解約金	3,470,000
未払利息	854
(C) 純資産総額(A-B)	7,850,281,838
元本	7,697,164,972
次期繰越損益金	153,116,866
(D) 受益権総口数	7,697,164,972口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,199円

(注) 期首元本額は8,979,256,768円、期中追加設定元本額は3,202,453,404円、期中一部解約元本額は4,484,545,200円、1口当たり純資産額は1.0199円です。

## ○損益の状況 (2021年8月20日～2022年8月19日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	23,315,784
受取利息	23,990,043
支払利息	△ 674,259
(B) 有価証券売買損益	△ 24,456,523
売買損	△ 24,456,523
(C) 当期損益金(A+B)	△ 1,140,739
(D) 前期繰越損益金	179,893,174
(E) 追加信託差損益金	63,852,596
(F) 解約差損益金	△ 89,488,165
(G) 計(C+D+E+F)	153,116,866
次期繰越損益金(G)	153,116,866

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\* 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末 元本額
	円
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)プライス(適格機関投資家専用)	1,997,050,289
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)Rプライス(適格機関投資家専用)	1,941,761,887
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)ハイブリッド30(適格機関投資家専用)	1,503,668,510
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド30(非課税適格機関投資家専用)	1,248,281,712
野村世界業種別投資シリーズ(マネーパブル・ファンド)	441,709,194
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド50(適格機関投資家販売制限付)	188,174,367
ノムラ・アジア・シリーズ(マネーパブル・ファンド)	128,372,175
野村DC運用戦略ファンド	85,180,134
野村世界高金利通貨投信	34,318,227
野村DC運用戦略ファンド(マイルド)	7,492,405
ネクストコア	2,282,012
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,834
野村グローバルCB投信(円コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(円コース)年2回決算型	984,543
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,543
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,543
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(円コース)毎月分配型	984,252

ファンド名	当期末 元本額
	円
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型	984,252
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	984,252
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(円コース)年2回決算型	984,252
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)年2回決算型	984,252
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	984,252
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	983,768
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	983,768
野村米国ブランド株投資(円コース)年2回決算型	983,768
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース)年2回決算型	983,768
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)年2回決算型	983,768
ノムラ・グローバルトレンド(円コース)毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース)毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース)毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(円コース)年2回決算型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース)年2回決算型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース)年2回決算型	983,672
野村テンプレートン・トータル・リターン Aコース	983,381
野村テンプレートン・トータル・リターン Cコース	983,381
野村テンプレートン・トータル・リターン Dコース	983,381
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	983,091
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,898

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース)毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース)年2回決算型	982,898
野村豪ドル債オープン・プレミアム毎月分配型	982,801
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(欧州通貨コース)	982,609
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(円コース)	982,609
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(豪ドルコース)	982,609
野村日本ブランド株投資(円コース)毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)年2回決算型	982,609
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース)年2回決算型	982,609
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,609
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,609
野村新世界高金利通貨投信	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース)毎月分配型	982,608
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)毎月分配型	982,608
野村日本ブランド株投資(円コース)年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース)年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース)年2回決算型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(円コース)毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(インドネシアルピアコース)毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(円コース)年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(中国元コース)年2回決算型	982,608
野村アジアCP投信(毎月分配型)	982,608
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(円コース)毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(円コース)年2回決算型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース)毎月分配型	982,607
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	982,607
野村新エマージング債券投信(中国元コース)毎月分配型	982,607
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)毎月分配型	982,607
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	982,607
野村日本高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,415
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)毎月分配型	982,029

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)年2回決算型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,029
野村カルミニャック・ファンド Aコース	981,547
野村カルミニャック・ファンド Bコース	981,547
野村通貨選択日本株投信(米ドルコース)毎月分配型	981,451
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース)年2回決算型	981,451
野村エマージング債券プレミアム毎月分配型	981,451
野村エマージング債券プレミアム年2回決算型	981,451
ノムラ THE USA Aコース	981,258
ノムラ THE USA Bコース	981,258
野村グローバルボンド投信 Bコース	980,489
野村グローバルボンド投信 Dコース	980,489
野村グローバルボンド投信 Fコース	980,489
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース)毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース)毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース)年2回決算型	980,297
グローバル・ストック Bコース	979,528
グローバル・ストック Dコース	979,528
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース)毎月分配型	626,503
野村豪ドル債オープン・プレミアム年2回決算型	491,401
野村通貨選択日本株投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	398,357
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース)年2回決算型	373,897
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース)毎月分配型	177,539
野村通貨選択日本株投信(インドルピーコース)毎月分配型	149,947
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース)年2回決算型	132,547
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース)毎月分配型	123,377
野村通貨選択日本株投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	100,946
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	98,262
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース)毎月分配型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,261
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース)毎月分配型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(インドネシアルピアコース)年2回決算型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	98,261
野村米国ブランド株投資(円コース)毎月分配型	98,261
野村テンブルトン・トータル・リターン Bコース	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,260
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,260
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,260
野村グローバルボンド投信 Aコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Cコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Eコース	98,049
野村環境リーダーズ戦略ファンド Aコース	98,020

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村環境リーダーズ戦略ファンド Bコース	98,020
野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース	98,011
野村ブラックロック循環経済関連株投信 Bコース	98,011
(年3%目標払出)のむらっぴ・ファンド(普通型)	98,001
(年6%目標払出)のむらっぴ・ファンド(普通型)	98,001
グローバル・ストック Aコース	97,953
グローバル・ストック Cコース	97,953
野村通貨選択日本株投信(インドルピーコース)年2回決算型	63,772
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース)毎月分配型	48,092
野村通貨選択日本株投信(中国元コース)年2回決算型	41,054
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース)毎月分配型	27,600
野村通貨選択日本株投信(中国元コース)毎月分配型	23,859
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース)年2回決算型	18,851
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース)年2回決算型	14,308
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース)年2回決算型	13,741
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA向け)	10,000
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース)年2回決算型	9,826
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	9,826
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Aコース	9,818
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Bコース	9,818
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)年2回決算型	9,809
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,808
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,808

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,807
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,807
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,805
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)毎月分配型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)年2回決算型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース)年2回決算型	9,803
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA・EW向け)	9,801
野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)	9,801
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)毎月分配型	9,797
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)年2回決算型	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Aコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Bコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Cコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Dコース	9,797
野村ファンドラップ債券プレミア	9,795
野村ファンドラップオルタナティブプレミア	9,795
野村グローバル・クオリティ・グロース Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村グローバル・クオリティ・グロース Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース)年2回決算型	3,114
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース)毎月分配型	966

## 〇お知らせ

該当事項はございません。